

平成28年11月20日
今週のベストショット



青松園A 三友クラブ 対 新町ウインズ戦

九番打者ながら2打数2安打2二塁打の活躍を見せた新町ウインズ早田主大選手。

写真：塩浜ジャガーズ 橋村明浩

青松園B 三苦フレンズ山口選手 11奪三振で完封勝利!!

三苦フレンズ (3勝8敗2分) 0020310 6 山口○ー佐藤 (由)

三苦三球会 (5勝8敗) 0000000 0 吉留●ー藤澤

HR：御手洗、西山 (三苦フ) 2BH：吉村、田中 (三苦フ) 盗塁：吉村 生野2 (三苦フ)

試合は二回まで両投手の力投で無得点だった。特に三苦フレンズ山口投手は自慢のライズボールを駆使し、すでに5奪三振という圧巻のピッチング内容。投手戦の様相を呈し、とにかく先取点が欲しい両チームだったが先手を取ったのは三回表のフレンズ。先頭の佐藤 (由) 選手が右前打で出塁し、寺山選手がきっちり犠打を決め一死二塁とすると一番吉村選手が二塁打を放ち先制。さらに吉村選手は三盗を決めると三番生野選手の一塁へのゴロの間に本塁に返りフレンズはこの回貴重な2点目を挙げる。一方の三球界は序盤で少しでも点差を詰めたいところだったが三回裏も三者凡退で山口投手を相手に反撃の糸口すら見出だせない。こうなると三球会は投手の吉留選手をはじめ、守りをしぶとくやるほかなかったが、五回に2本の本塁打を浴びるなど3失点。六回にも3本の単打を打たれ1失点を喫し、点差は6点まで開いてしまいこのままゲームセット。山口投手は四回以降も1安打6奪三振と驚異のピッチングを見せ見事な完封勝利となった。好投手を相手に2本の安打を放つ三球会藤澤選手の打撃センスも素晴らしいものだった。(記事・写真：奈多フェニックス 実延新伍)



三苦フレンズ 山口投手。



三苦三球会 吉留投手。



山口投手を相手にこの日2安打の三球会藤澤選手。



先制のホームを踏むフレンズ佐藤（由）選手。



豪快なスイングを見せる三球会四番の右山選手。



コンパクトな素晴らしいスイングの田中選手。



藤澤選手を中心に集まる三球会野手陣。



必死にくらいつくフレンズ西山選手。

青松園A 6勝6敗同士の戦い！

三友クラブ (6勝7敗) 00300 3 足達●尾澤一谷崎

新町ウインズ (7勝6敗) 2040X 6 藤田○ー今林

HR: 今林 (新町ウ) 2BH: 尾澤、松尾 (三友) 早田2 (新町ウ) 盗塁: 坂本、広瀬 (三友ク) 桐島 (新町ウ)

リーグ戦も終盤にさしかかり、6勝6敗と勝ち越しのかかった戦いとなった。速球派・新町ウインズ藤田選手と技巧派・三友クラブ足達投手の先発で戦いは始まり、一回表三友クラブは二番尾澤選手が二塁打で出塁するも、後続が打ち取られ先制点とはならなかった。一回裏ウインズは、一番桐島選手が足達選手の足に当たる投手強襲安打で出塁すると、積極的に犠打エンドランを成功させ一死三塁とすると、WPで幸先よく先制点を奪う。気持ちが楽になった三番今林選手は左翼越えの本塁打を打ち、さらに1点を追加した。2点を追う三友クラブは六番松尾選手が中翼越えの二塁打で出塁したが後続が続かず、好投手藤田選手から得点を奪えない。二回裏は足達投手がウインズ打線を三者凡退で抑えリズムを作ると、一死から三友クラブ一番坂本選手が四球で出塁し、すかさず盗塁を決める。続く二番尾澤選手が中前打で出塁し、バックホームの間に打者尾澤選手は二塁に進塁してチャンスを作ると、三番中内選手の遊撃ゴロの間に坂本選手がホームインし1点を返した。二死三塁になったところで代打オレと広瀬監督が登場。簡単に2ストライクを取られるも、きわどい球を見極め、四球を選び出塁すると、盗塁を決め二死二三塁と再び逆転のチャンスが訪れる。五番谷崎選手は追い込まれながらも粘り、外角の速球に合わせて当てた打球は左翼と遊撃手の間にポトリと落ち、2人がホームに返って逆転に成功。しかしその裏、ウインズ九番早田選手が右中間への二塁打で出塁すると、安打と死球で一死満塁となったところで、四番藤田選手に打順が回り、見事に中前打を放ち2点を追加し、あっさり逆転に成功。さらに二死二三塁で六番野中選手が鋭い打球で三遊間を抜き、さらに2点を追加した。ウインズはこの3点を守り切り、今シーズンの勝ち越しを手中に収めた。(記事・写真: 塩浜ジャガーズ 橋村明浩)



新町ウインズ先発の藤田投手。



三友クラブ先発の安達投手。



一回裏 投手強襲安打を放つ桐島選手。



一回裏 本塁打を打つ今林選手。



二回表 中越え二塁打の松尾選手。



三回表 逆転安打の三友クラブ谷崎選手。



右中間へ2本の二塁打を打ったウインズ早田選手。



三回裏 逆転打を打つウインズ藤田選手。



三回裏 ダメ押し打のウインズ野中選手。



三友クラブ二番手の尾澤投手。

奈多グラウンド1 奈多サンデーズ、着実に点を重ね完勝

ブルーマーリンズ (4勝8敗2分) 1 0 1 0 0 0 2 佐藤●-横山 (健)
 奈多サンデーズ (9勝3敗1分) 2 1 3 1 2 X 9 木下○、江口-長浜

2BH: 横山 (健) (ブルー) 宮口2、川上 (奈多サ) 盗塁: 横山 (健) (ブルー) 江口 (奈多サ)

一回表ブルーマーリンズは先頭の井上 (広) 選手は四球を選び出塁。続く井上 (紘) 選手の送りバントが内野安打となり無死一三塁とする。その後三番横山 (健) 選手の二ゴロの間に井上 (広) 選手が還り先制点を挙げる。一回裏サンデーズは一死後、大川選手が四球を選び出塁。二死後江口選手、野田選手も四球を選び二死満塁とすると、制球の定まらないブルーマーリンズ佐藤投手はWPを続けてしまい2点を献上しノーヒットで逆転される。

二回表ブルーマーリンスは先頭の糸井選手が相手エラーで出塁、さらに相手エラーなどで三塁に走者を進めるもあと1本が出ず無得点。二回裏サンデーズはまだ制球の定まらない佐藤投手から先頭の八番前田選手が四球を選び出塁、続く木下選手も四球を選び、一死二三塁から二番大川選手の犠牲フライで1点追加し3-1とする。三回表ブルーマーリンスは先頭横山（健）選手がライトオーバーの二塁打を放ち出後帰還し1点を返す。しかし三回裏にはサンデーズ江口選手がヒットで出塁しすかさず盗塁、続く野田選手も出塁し、無死一三塁から六番宮口選手の二塁打で1点追加。さらに続く走者も内野ゴロの間にそれぞれホームを踏みこの回3点を追加。サンデーズはその後も四回に1点、五回にも2点と小刻みに点を加え最終回は江口投手が無得点で締め、終わってみれば9-2と大差で勝利した。10四球と制球が乱れたブルーマーリンス佐藤投手に対しそこを確実に点に結びつけたサンデーズの攻めが勝利に導いた。（記事・写真：ソルトベイスターズ 田中裕次郎）



今シーズン最終戦の握手。



好投の奈多サンデーズ木下投手。



二回表、セーフティスクイズを試みる末松選手。



挟殺プレーで得点を許さないサンデーズ長濱捕手。



一死満塁と攻めるも本塁フォースアウトで得点奪えず。



二回裏、ナイスプレーのマーリンス井上（紘）二塁手。



二回裏、タッチアップからホームインする前田選手。



三回表、横山（健）選手の二塁打。



三回表走者を進めるブルーマーリンズ横山（祥）選手。



三回裏、盗塁を決めるサンデーズ江口選手。



三回裏、野田選手の送りバンドがきれず内野安打。



三回裏、タイムリー二塁打を放つサンデーズ宮口選手。



五回裏、サンデーズ鳥羽選手の微妙な当りは内野安打に。



サンデーズ川上選手のダメ押し2点適時二塁打。



バンド処理のサンデーズ木下投手。



華麗な送球のサンデーズ大川二塁手。

奈多グラウンド2 今季初の第2試合目開催は5-5の引き分け

レッドサンデーズ (3勝7敗3分) 4 0 0 0 0 1 5 八島△、嶋村ー荒口

ソルトベスターズ (1勝10敗2分) 1 2 0 0 0 2 5 小山△ー春田

朝9時試合開始となった奈多グラウンド第2試合、お互いの控え選手が1人ずつと寂しい中プレイボール。初回レッドサンデーズはソルトベスターズの守備の混乱に突け込み満塁とすると、六番嶋村選手の中前適時打で2点先制すると、その後もWPや内野ゴロの間に点を重ね4得点。初回からビッグイニングとした。レッドサンデーズ先発はエース不在で八島投手が登板。その裏ソルトベスターズは一番中村(健)選手の内野安打と2盗塁で攻め立て内野ゴロの間に得点。二回裏にもレッドサンデーズの守備の乱れから塁を埋めて、ベテラン二番石井選手のスクイズなどで1点差と追いつがる。両チームともその後は冬の天気みたいに急に冷え込んだが、六回裏ソルトベスターズは、疲れの見える裏エース八島投手を満塁と攻め立て、九番森選手の押出しで同点。続く一番中村(健)選手の犠牲フライでようやく逆転に成功。しかしレッドサンデーズは七回表、二死二塁から六番前田選手が冬眠にはまだ早いと意地の右越え二塁打で同点に追いついた。七回裏レッドサンデーズは二番手嶋村投手が登板し、代わってセカンドに回った八島選手が好プレーで3つ捌きゲームセット。5-5の引き分けで両チームとも今シーズンの戦いを終えた。(記事：三苦ホーネッツ 隈崎雄裕、写真：三友クラブ 山本健一)



自称「バッティングピッチャー」レッド先発八島投手。



立ち上がりに難があったソルト先発小山投手。



一回表、レッド先制のホームイン。



二回表、盗塁を試みる川原（陸）選手。



二回裏のピンチを何とかしのぎベンチでハイタッチ。



四回裏、レッド嶋村二塁手の見事なグラブトス。



六回表、押し出し四球で同点に追いつくソルト。



ピンチでマウンドに集まるレッド内野陣。



七回裏、クローザーで登板のレッド嶋村投手。



見事三人で抑え、何とか引き分ける。



最終戦を終えて、笑顔で挨拶する両チーム。

第24週編集後記

WSLのみなさん、コンニチハ！

第24週、11月10日は4試合が行われました。

青松園Bの三苦フレンズ対三苦三球会戦は、フレンズ山口投手が三振11個の奪三振ショーを披露すれば、打っては1HRを含む10安打を集めたフレンズが6-0の完封で勝利。来年に繋がる試合内容を見せた。

青松園Aの三友クラブ対新町ウインズ戦は今林選手のHRで先制したウインズだったが三回表に逆転を許す。その裏、先頭の九番早田選手の二塁打で口火を切ると単打を集めて一挙4点を取り逆転したウインズの勝利。

奈多グラウンド第1試合ブルーマーリンズ対奈多サンデーズ戦は、一～四番まで若手で揃えたブルーマーリンズが先制するも、その裏ブルーマーリンズ佐藤投手の4四球で逆転を許す。三回以降ヒットを絡めて毎回得点を挙げた奈多サンデーズが2-9で勝利。

奈多グラウンド第2試合レッドサンデーズ対ソルトベイスターズ戦は、レッドが初回ソルトの守備の乱れに乗じて4点を先取するも、その裏投手陣が不在のため八島投手が初先発。その立ち上がり3安打を集めて1点、二回にも2点を取り試合はソルトペースに。しかし膠着状態を脱したソルトが六回裏に逆転するが、土壇場七回表二死からレッド六番前田選手が同点打を放ち5-5の引き分けに。

今年のWSLも残すところ1試合となりました。

奈多クラブが優勝か？それともパイレーツが意地を見せるか？